



【オリオン座】湖山で見たオリオン座です。バラ星雲、馬頭星雲等の散光星雲がうっすら写っています。画面左下側が明るいのは鳥取市の市街光です。(2018.1/11, EOS60Da, SIGMA28mmF1.8EX DG ASP.MACRO で撮影) 撮影者 三須 幸一郎 (知財部門長)

◆ 2月の特許相談会

※今月は鳥取と米子地区の2会場で開催いたします。

【米子地区】

相談員: 富田 憲史 弁理士
(医獣・バイオ関係)
日時: 2月8日(木) 13:30より
場所: 総合研究棟3階 セミナー室

【鳥取地区】

相談員: 下田 一弘 弁理士
(機能性材料・バイオ・太陽電池他)
日時: 2月14日(水) 13:30より
場所: 産学連携推進機構1階 多目的室



【目次】

2月の特許相談会	1
【産学連携知的財産アドバイザー派遣事業】西山アドバイザー就任のご挨拶	2
「鳥取大学 特許集2018」を準備中です	3
【特許用語集】「意匠権」について	4
【報告】特許相談会・発明審査委員会の件数	4

産学連携知的財産アドバイザー派遣事業について

本件は、独立行政法人 工業所有権情報・研修館による「平成 29 年度産学連携知的財産アドバイザー派遣プログラム追加派遣公募」に応募し、この度、鳥取大学が採択されたもので、今回ご紹介する西山アドバイザーの派遣が決まりました。

本事業は、一定程度の技術移転実績等を有する中小規模の大学で、大学の技術シーズを基に新事業を立ち上げる意思と能力を有する企業と良好な関係を有すること等が要件として求められています。本事業により、該当分野の特許情報・市場情報の分析、事業化を見据えた知財権、事業戦略策定等への支援などを行う予定です。具体的には、大学発ベンチャーで事業化を検討している案件を通じて、共同研究成果のよりよい展開に向けた活動を実施していきたいと思っています。

知的財産管理運用部門 部門長
三須 幸一郎



就任挨拶



一般社団法人発明推進協会
産学連携知的財産アドバイザー
西山 和成

12 月より、INPIT の産学連携知財アドバイザー派遣事業で本学を担当させていただき、西山和成でございます。ミッションの建前は「プロジェクト案件の事業化の加速化を図る観点に立ち、知的財産マネジメントを核とする支援を行う」となっておりますが、要はプロジェクトの形成・推進・加速のために役立つことを行うことで、知財関係のよろず相談もありですので気軽に声をかけて頂ければ嬉しいです。

現在は川崎医科大学に駐在して吉備地域ネットワークの 4 大学も担当していますので、当面は倉敷から出かけて行きます。

以下は略歴などです。出身は大牟田市で、宮崎県の化学メーカーで 34 年、繊維・医薬・医療機器・診断薬で研究から製造まで携わってきました。次に JST で大学の知財や実用化支援を 6 年、約 450 件外国特許出願支援を行いました。本学は 6 件担当し 2 勝 4 敗、負け越してすみませんでした。その後、発明推進協会で 2 年が経ったところです。

家は延岡で単身赴任は通算 15 年を超えます。ただ、この歳になるとその単語は使わなくなり、「家族はそれぞれ好きな所に住んでいる」となります。休みの日にはレンタカー借りてめったに対向車に会わない道を走り回ったり、瀬戸内海の島を歩き回ったりしております。よろしくお願いたします。

刊行に向けて準備中です！！

鳥取大学特許集2018

現在「鳥取大学特許集 2018」の刊行に向けて準備中です。

今回は掲載案件 40 シーズの中から新規追加された 4 シーズ（「医療・健康」分野 2 件、「情報・制御」分野 1 件、「環境・エネルギー」分野 1 件）を簡単にご紹介いたします。

医療・健康

きのこ抽出物から美白成分を同定

- ❖ 活用のポイント：1,000 種を超えるきのこ抽出物ライブラリーから、美白成分を含めた活性物質のスクリーニングが可能
- ❖ 技術概要：きのこ抽出物ライブラリーから有用物質のスクリーニングが可能。
きのこから抽出した新規なチロシナーゼ阻害物質を同定。
- ❖ ライセンス情報：代表発明者：石原亨（農学部・教授）
発明の名称「チロシナーゼ阻害剤」
特願2017-061552（2017年3月27日 出願）

医療・健康

動物の行動を評価するための設備および評価方法

- ❖ 活用のポイント：動物の従来型行動評価法が有する問題を回避し、「動物に優しい」認知機能評価が可能です。
- ❖ 技術概要：本発明により、世界規模で増加の一途をたどる認知症、その治療薬開発には欠かせないモデル動物実験において、より効率的、短期的、低リスクなものとすることができます。
- ❖ ライセンス情報：代表発明者：加藤信介（医学部・准教授）
発明の名称「動物の行動を評価するための設備および評価方法」
特願2017-038614（2017年3月1日 出願）

情報・制御

確率推論による製造ビッグデータの不具合分析 【AIによる製造に関わる複雑な因果関係の効率的分析】

- ❖ 活用のポイント：製品欠陥や製造工程の不具合ビッグデータからその原因を短期間に究明！
- ❖ 技術概要：確率推論（AI）によって製造ビッグデータにおける複雑な因果関係を分析して、不具合や欠陥の原因を定量的に究明する。数値データ、製造理論、および製造技術者のノウハウ（不具合報告）による複合データベースにより、多様な情報による分析を行う。
- ❖ ライセンス情報：代表発明者：北村章（工学研究科・教授）
発明の名称：「製造不良原因の探索支援方法及び情報処理装置」
出願番号：特願 2017-061991（2017年3月27日 出願）

環境・エネルギー

小型魚類の行動解析による毒性評価装置

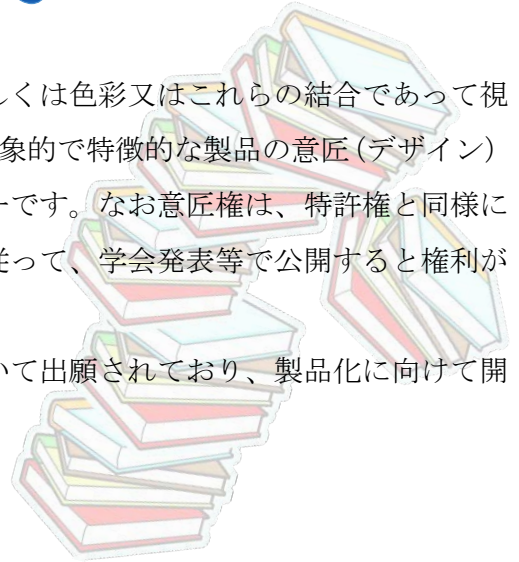
- ❖ 活用のポイント：魚の行動異常の定量化により環境毒性を計測
- ❖ 技術概要：小型魚類の逃避行動における速度変化を計測することで、化学物質曝露時の行動異常を定量化した。これにより環境毒性を高感度で素早く検出可能な環境センサの実現が見込まれる。
- ❖ ライセンス情報：代表発明者：中井唱（工学研究科・准教授）
発明の名称：「毒性評価装置」
出願番号：特願2017-118144（2017年6月15日 出願）

特許用語集

～意匠権～

意匠権は、物品（物品の部分を含む。）の形状、模様若しくは色彩又はこれらの結合であって視覚を通じて美感を起こさせるものを保護する制度です。印象的で特徴的な製品の意匠（デザイン）は、商品の購買行動に影響を及ぼすなど重要なファクターです。なお意匠権は、特許権と同様に特許庁への出願後、無効理由の審査を経て成立します。従って、学会発表等で公開すると権利が得られない場合があります。

本学においても、製品に関する機能的なデザインについて出願されており、製品化に向けて開発が進められています。



1月の件数



知財部門による特許相談件数	8件
定例特許相談会の件数	
下田一弘 弁理士(機能性材料関係他).....	1件
富田憲史 弁理士(医獣・バイオ関係他).....	4件
発明審査委員会の件数	3件

刊行物
知財部門ニュース
み・ん・なのニュース1月号
<131> (通番160号)
2018年2月1日発行
編集・著作：
知的財産管理運用部門
発行：鳥取大学
産学連携推進機構



*** 編集後記 ***

1月下旬はとても寒く強い寒気の影響で平成で一番の寒さともニュースされていましたね。防寒対策はもちろん積雪時は路面の凍結もされ危ないので十分に注意しましょう。

*** 特許等の相談 ***

相談員： 三須 幸一郎 (部門長・教授)
TEL：0857-31-6000(直通) (又は内線 2765)
場 所：産学連携推進機構 2F 知的財産管理運用部門

相談員： 山岸 大輔 (副部門長・准教授)
TEL：0859-38-6496(直通) (又は内線 (米子) 6496)
場 所：産学連携推進機構 米子地区地域連携部門(医学部アレスコ棟 6F)

E-mail アドレス： chizai@ml.adm.tottori-u.ac.jp (米子、鳥取共通)
FAX：0857-31-5474 (又は内線 2771) ※鳥取地区
産学連携推進機構 HP：<http://www.cjrd.tottori-u.ac.jp/>